

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果 令和5年8月10日 単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ sp.	カレニア ・ミキモトイ	ヘテロシグマ ・アカシオ	コックロディニウム ・ポリクリコイデス
1. 夏井沖						欠測			
2. 長田沖						欠測			
3. 片白島						欠測			
4. 小田代						欠測			
5. 沖松浦漁港						欠測			
6. 鶴見振興局裏						欠測			
7. 鶴見ボンツーン	13:58	0	22.8	31.49	6.7	0	1	0	0
		2	22.7	32.46	6.7	0	0	0	0
		5	22.2	33.28	6.7	0	0	0	0
		10	22.1	33.31	6.6	0	0	0	0
		12	22.1	33.31	6.6	0	1	0	0
		13	22.1	33.32	6.6	0	0	0	0
8. 石間						欠測			
9. 霞ヶ浦	14:35	0	25.5	6.93	7.9	0	0	0	0
		2	25.1	27.75	5.9	0	0	0	0
10. 守後						欠測			
11. 片神						欠測			
12. 片神～彦島						欠測			
13. 水試前	15:40	0	25.1	27.20	7.0	0	0	0	26
		5	25.0	28.71	6.7	0	0	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

※強風波浪のため、岸壁から採水

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コックロディニウム・ポリクリコイデス	30以上	300以上

*警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

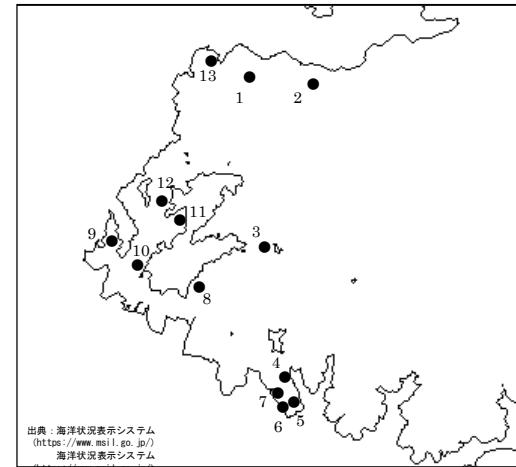
*アヒ、サエ等ではカレニア・ミキモトイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。

*マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とします。

連絡事項

有害プランクトンのカレニア・ミキモトイ、コックロディニウム・ポリクリコイデスが確認されました。

今後の細胞密度の推移にご注意下さい。



出典: 海洋状況表示システム
(<https://www.mri.go.jp/>)
海洋状況表示システム
(<https://www.mri.go.jp/>)
を加工して作成

図. 調査定点図